

事業所名:グループホーム たんぽぽハウス

作成日:平成 22年 11月 22日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 No. 1					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束を行うにあたって、1日の中で身体抑制を行わない時間を作り出すよう、取り組んでほしい。	身体拘束について話し合うことで、少しでも拘束による行動の制限時間を減らしたい。	①身体拘束について、何か気づいた際に直ぐに職員で話し合いを行います。 ②最低、1ヶ月に1回(職員会議で)話し合います。 ③身元引受人の方から、要望や意見を聞いて、酌み取ります。	12か月
2	33 (12)	看取り介護を行うために、書類や環境、協力機関などの整備が必要と思われる。また、職員へも看取りケアについての研修を行い、体制を整え最後まで安心して暮らせるような取り組みに期待したい。	施設・職員の看取りケアについての知識を高め、御家族に安心して頂ける介護を目ざす。	①G・Hに合わせた看取り介護についての書類を作成する。 ②職員へ看取り介護についての勉強会を行い、看取りについて理解を深める。 ③重度化に合わせ、終末期に向けて話し合いを家族といつでも行える状況を整えておく。	5か月
3	35 (13)	事業所の周囲に民家が少なく、町からも離れているため協力員を巻き込んだ訓練ができるような取り組みに期待したい。	協力員を含めた、災害時訓練を行う。	①現在の協力員だけでは、負担が大きすぎる為消防団などに、新たに協力を依頼し訓練への参加してもらおう。→H22年11月22日、理事長より泊消防団長へ協力依頼をしました。	10か月
4	36 (14)	利用者の希望でトイレの戸を開けていたが、不快に思う利用者もあるため双方の思いに配慮した対応を検討して頂きたい。	プライバシーに配慮する為、居室やトイレの戸を閉める。	①戸の開閉について、利用者様からの意見があった際は、分かりやすく説明しプライバシーに配慮する。 ②居室やトイレの戸は閉めている。また、開いている際は、職員同士声を掛け閉めるように心掛ける。	1か月
5	43 (16)	利用者の支えとなる手すりがトイレ内についていないため、自立を促すためにも手すりを設置する予定である。	自力で排泄できる様にトイレ内に手すりを設置する。	①H22年10月8日に手すり設置完了しました。	1か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

事業所名:グループホーム たんぽぽハウス

作成日:平成 22年 11月 22日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 No. 2					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	45 (17)	重度の利用者を受け入れするのであれば、入浴環境の見直しを検討していただきたい。	寝たきりになっても入浴出来る。	①重度の利用者様の入浴を、隣接している、デイサービスの特殊浴槽で入浴させる。	1か月
7					か月
8					か月
9					か月
10					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。